

2018年9月号 (No.444)

医療生協 宮崎医療生活協同組合 宮崎市大島町天神前1175-3

おげんきですか

宮崎生協病院 ☎(0985)24-6877 FAX 29-4839
和知川原生協クリニック ☎(0985)23-0050 FAX 23-0303

宮崎生協病院附属棟建設事業はじまる

宮崎生協病院附属棟3階建て

- 1 附属棟 1階は小児科
2 附属棟 2階は健康診断科
3 附属棟 3階は人工腎透析施設

宮崎生協病院の院内改修

- 1 内視鏡検査スペースの拡大と充実
2 がん治療としての化学療法治療
3 心臓リハビリのスペースを確保・充実
4 5階に3床の入院部屋を設ける
5 正面玄関を改修し、冬場に冷たい風が待合室に入らないようにする

安心ネットワークの輪を広げ、住み慣れた地域で安心して暮らしてほしい。宮崎生協病院は2002年4月、和知川原から大島町に新築移転しました。現在、124床の病院として幅広い診療圏を擁する地域にとっ

第29回通常総代会にて宮崎生協病院附属棟建設・生協病院改修事業が承認されました。宮崎生協病院は、地域のくらしと健康の砦としての役割を果たし、今後もひきつづき組合員さんの要求に寄り添う医療や介護活動を通して、医療生協の運動を広げます。

宮崎生協病院は、これからも地域や組合員さんの思いに寄り添う活動を通して、医療生協の運動を広げます。

1 宮崎生協病院附属棟建設・院内改修で、事業の特色(小児科医療・心臓リハビリ・内視鏡・健診事業の拡充と透視施設・化学療法室の新設)を活かし、地域医療に貢献できる役割を構築させるための事業として年間1億円の増資運動を2年間取り組みます。

2 億円増資運動はじまる。多額の資金が必要です。事業を支えるための2億円の増資運動の取り組みは、



宮崎生協病院と附属棟の完成イメージ

2億円増資運動はじまる。ご協力をお願いします。

《みんなの力で宮崎生協病院附属棟建設を!》 宮崎生協病院健康まつり ~つくろう健康! たのしく長生き!~
●と き/2018年11月4日(日) 11時~14時
●と ころ/宮崎生協病院西側駐車場
◎中央舞台(予定)/吹奏楽演奏、園児のかわいダンス、ひよっこ踊り、組合員さんからの楽しい演芸など
◎模擬店/組合員さんによる飲食物提供など

附属棟建設協力のお願い
社会保険費削減の流れの中で、病床の削減、介護保険の軽症者外しが現実のものとなって来ています。この中で宮崎の医療を守るには地域の医療・福祉機関との連携を取りながら対応することが、いままでも住み続けられる宮崎を実現するために避けられない時代になってきました。地域連携を重視する医療生協では、さらにかかりやすい外来治療の幅を広げ、生活を取り戻すためのハビリティを重視する施設を、そして健康を維持するための健診施設の充実を求める声が多く寄せられるようになり、今年度の総代会ではこの声に応えて、宮崎生協病院に増設・改築する計画を決定いたしました。今回は、大島町に移転新築以来の大掛かりな増設・改築となります。これからの医療生協の発展と地域医療の充実のために、皆様のご意見やご要望をお聞かせいただき、よりよい増設・改築にと考えておられます。よろしくお願ひします。(宮崎医療生協理事長 日高明義)

断捨離を考えた。数年前、消費生活センターの「終活セミナー」に参加した。講演者は葬儀会社の方で意外だった。少子高齢化社会の日本では、今後生じる恐れがある7つの問題を挙げた。その中で私がショックだったのは、高齢化で野菜をつくる農家が減少し、食卓から野菜が消える「まさか」。また近未来予測として、資源が枯渇する危機や環境汚染に歯止めが効かなくなるなどの大変なことがあった。それに現実問題として生

体温計
断捨離を考えた。数年前、消費生活センターの「終活セミナー」に参加した。講演者は葬儀会社の方で意外だった。少子高齢化社会の日本では、今後生じる恐れがある7つの問題を挙げた。その中で私がショックだったのは、高齢化で野菜をつくる農家が減少し、食卓から野菜が消える「まさか」。また近未来予測として、資源が枯渇する危機や環境汚染に歯止めが効かなくなるなどの大変なことがあった。それに現実問題として生

クイズの答えはEメールでも受け付けております 「おげんきですか」へのご意見・ご感想をお寄せください。 Eメール:mcoop1030@ray.ocn.ne.jp

生協クイズ (No.172) (出題 編集委員会)
「のち」を時代で考えてみましょう。以下の設問を①~③で答えなさい。
(1) 「きりすて御免」と言われた封建制時代では、庶民のいのちは「」のものでした。
(2) 戦時中は「口」のいのちを捧げることを国民に強要しました。20歳以上の男性は徴兵検査を受けて戦場に行かされました。徴兵検査を拒否すると「非国民」として罰せられました。
(3) 戦争が終わり、民主主義の時代になりました。自分の人生のいのちは「」のもので、そのありようは「」で決まるという時代になりました。
①自分 ②領主 ③天皇陛下

宮崎生協病院の受付・診療時間変更のお知らせ
9月1日(土)より、一般内科の受付・診療時間が変更となりました。ご理解とご協力をお願いします。
[8月31日まで] [9月1日以降]
午前 [受付] 8:00~11:15 → 8:00~11:00 [診察] 8:30~12:30 → 8:30~12:00
午後 [受付] 14:30~16:30 → 13:30~16:00 [診察] 15:00~17:30 → 14:00~17:00

9月の診療案内 遠藤・高田・中島(循環器内科)、古谷・眞川(消化器内科)、高橋聡・永友(呼吸器内科)、植野(糖尿病内科)、浜田・高橋麻里子(内科・リハビリ)、山岡・葉山・末岡(外科・肛門外科)、山元・上野・愛甲・久保(小児科)、堀・加藤(後期研修医)、黒木・合田・當瀬・日高・初(前期研修医)

Table showing the medical schedule for Miyazaki Seikyo Hospital by department (Internal, Surgery, Pediatrics, etc.), dates (Month), and doctor names.

●土曜日夜間の内科・小児科外来は休診です。 救急受け入れおよび他院からの紹介についてはこの限りではありません。また、内科予約・検査予約・外科・小児科の受付時間に変更はありません。地域の中で入院施設を持つ病院として、救急受け入れ及び紹介の受け入れを厚く、重症患者への対応の質を担保するためです。ご理解とご協力をお願いします。

和知川原生協クリニック 0985(23)0050
おおつか生協クリニック 0985(52)6715
このはな生協クリニック 0985(58)1222
生協クリニックのべおか 0982(26)7100

在宅総合ステーション れいんぼう 0985(24)8538
在宅総合ステーション それいゆ 0982(31)1453
みんなの家 0985-75-0700
ぎおんの家 0985-61-7720
おおつかの家 0985-55-0025

◎介護保険の申請や相談については上記の居宅介護支援事業所にお問い合わせください。



# 私たちは宮崎生協病院の「事務部」です!



## 事務部は看護部に次ぐ大集団

宮崎生協病院の事務部は、外来医事課・病棟医事課・情報管理科・健診科・医局秘書課の5つの部署で構成され、総勢40名を超える看護部に次ぐ大集団です。主な業務は窓口業務(受付、会計、入院案内、相談業務など)、請求業務(保険請求・自治体健診請求など)、情報管理業務、医師事務補助(文書作成・診療予約代行など)に加え、施設の営繕、消耗品の管理など、医師や看護師などの専門職集団の業務を円滑に遂行できるように日々取り組んでいます。

## 病院の運営に貢献を

宮崎生協病院の40年の歩みを見ると、激動する情勢の中で、特に患者の権利を脅かす政策や診療報酬のマイナス改定による厳しい経営など、大変な時代を乗り切ってきた歴史があります。今後も病院の継続と発展のために事務部が一丸となり、病院の運営に貢献していきたいと思っております。



宮崎生協病院の事務部のみなさん

## ご相談ください

病院で最初と最後に会う職員が事務職員となる場合がほとんどです。様々なお問い合わせに対応する中で、患者様がお困りのことはないか、私たちにできることはないかを追求し、制度のご紹介や必要に応じて専門職への取り継ぎを行うことも私たち事務職員の重要な仕事になっています。

## 「地域で育てる」をテーマに

最後になりますが、今年度の事務部の新入職員の育成方針は「地域で育てる」をテーマにしています。毎月班会に参加させていただくなど組合員のみなさまにも大変なご協力をいただいております。この場をお借りしてお礼申し上げます。今後ともよろしくお祈りいたします。(宮崎生協病院事務次長 飯干謙太郎)

宮崎生協病院の40年の歩みを見ると、激動する情勢の中で、特に患者の権利を脅かす政策や診療報酬のマイナス改定による厳しい経営など、大変な時代を乗り切ってきた歴史があります。今後も病院の継続と発展のために事務部が一丸となり、病院の運営に貢献していきたいと思っております。



大量の土砂が住宅地に

現在、ニュースの報道は減りましたが、テレビに映る現地の様子は私が行った日とあまり変わっていません。まだまだ被災地は、支援の手を必要としています。宮崎医療生協は7月31日、日本医療福祉生活協同組合連合会と全日本民主医療機関連合会に9万円の義援金を送金しました。災害募金は、病院・クリニックでも受付しています。組合員の皆さま、ご支援ご協力をお願いします(宮崎生協病院健診科 畠山大輔)



土砂で埋もれた線路

西日本豪雨災害で被災した広島市東部にボランティア支援活動に行きました。被災した地区は私の出身地でもあります。支援要請が出るとすぐに宮崎医療生協の職員として参加しました。支援に入ったのは広島県安芸郡坂町小屋浦という地区(宮崎市で例えると土砂崩れによって主要道路と鉄道が一週間分断され、支援に入った7月13日から、ようやく一部の道路が復旧した状況でした。)

## 西日本豪雨災害ボランティアに参加して

＜審議・決定事項＞  
①7月度の組合員増やしは73名(目標117名)、・出資金増資は512.5万円(目標405万円)、班づくりは1班、班会開催は87班(目標97班)でした。6月時点の組合員総数は49,361人、出資金残高5億5,955万円。累計の組合員数脱退502人で純増▲130人(昨年脱退数504人、昨年純増▲151人)でした。  
・「新班結成」、「九州沖縄組合員交流集会in沖縄のまとめ」、「子どもの保健学校」、「原水禁世界大会in広島」について各担当理事から報告がありました。  
・宮崎県生協連共済企画「健康チャレンジシート」を大人510名、子ども647名、合計1,157名に配布しました。  
②「故翁長知事辺野古基地承認撤回」「柏崎刈羽原発再稼働」「生活保護世帯エアコン代支給」「介護負担3割引き上げ」「全国被爆者アンケート」「障がい者医療費助成制度の現物給付の署名取り組みについて」(宮崎県の自殺者過去20年で最小)など平和と社会保障を守る取り組みについての報告がありました。  
・「介護保険3割負担の影響について」「西日本豪雨災害の宮崎医療生協の医師、職員の支援状況、義捐金の取り組み状況」についての報告がありました。  
③6月の法人の経常利益は696.4万円(予算差▲84.1万円)の到達であることが仁田弘文専務理事より報告がありました。経営状況について質疑応答が行われ、また法人内事業所の2017年度決算を受けての事業所別の経営分析についての報告もありました。  
④宮崎医療生活協同組合の2018年度監査方針について提案がありました。  
⑤病院情報システム一式(電子カルテシステム等)の購入については継続審議となりました。

＜報告・承認事項＞  
①7月度の事業所活動、医療安全管理委員会、宮崎生協病院利用委員会、県連介護事業所責任者会議、経営協議会、グループホームおおつかの家実地指導の結果について報告・承認しました。  
②第29期第2・3回常勤理事会、宮崎民医連第10期第3回理事会、宮崎県社協第2回幹事会について報告・承認しました。  
③人事について報告・承認しました。

今、宮崎医療生協は		2018年7月末現在	
■新規加入者	73名(7/1~7/31)	■総組合員数	49,361名
■出資金	5億5,955万円	■平均出資金	11,336円
■班数	294班	■おげんきですか手配り配布数	20,740部

おげんきですか文芸欄  
〈短歌〉 河野 正延岡市  
沖合に並ぶ漁火眺みて静かな浜に亀産卵す  
炎暑にも怯むことなく昼顔の  
花咲きをれば目礼交わす  
(文芸欄の投稿をお待ちしています)

みんなの声  
◎今まで医療機関には興味が強かったのですが、昨年病気になり、健康や医療に興味を示すようになりました。これからも自分の地域で行われる医療行事にはできるだけ参加しようと思います。(宮崎市Mさん男性)

虹の声 宮崎生協病院虹の意見箱 8月度宮崎生協病院利用委員会  
◎朝、着替えを頼まれたので病棟に行ったのですが「面会は14:00~ですよ。決まりを守って下さい」と言われました。時間のことは分かっていたが家族がちょっとの用事を済ませるのはいけなかったのでしょうか?ちょっとショックでした。決まりは分かっているつもりです。他に言い方はなかったのでしょうか?  
○患者様の立場に立って、状況に応じた対応ができるよう接遇向上に努めて参ります。

# 附属棟建設のイメージ



1階(小児科外来)の紹介

○医療生協らしく地域の小児科医療を進めていきます。小児科医師の体制を充実させ、急性疾患・アレルギー外来・小児健診・予防接種等の要求に応じていきます。  
\*感染防止の観点から急性疾患外来と予防接種・乳児健診が混在することがないよう待合室を区分します。  
\*冬場の繁忙期でも診察室が不足することのないよう3つの診察室を設けます。  
\*小児科外来窓口にて受付から会計まで行いま

す。またスマホでの予約などITを活かしてのわかりやすさや情報提供を検討します。  
\*入院施設をもつ小児科という強みを生かして外来から入院まで支える役割を發揮します。  
\*就学援助世帯への無料低額診療事業の推進・具体化に取り組みます。  
\*地域に密着し「子育てすくすく教室」「こどもの保健学校」など地域の子ども達やご両親の子育て支援のお手伝いなど、地域の拠点小児科としての役割を發揮します。

2階(健康診断センター)の紹介  
○とても狭かった健診スペース(生協病院内)を附属棟に移動(131平米→390平米)、更衣室の要望・外来患者との待合室の分離など、またアメニティ(かかりやすさ・心地よさ)を改善し満足度をアップします。地域・組合員さんの健康づくり・健康寿命アップのための協同作業のお手伝いなど、宮崎医療生協の地域づくり・まちづくり・健康づくりを医療生協に基づく

健康観(健康習慣)に沿って推進していきます。レントゲン撮影や心電図の検査などもここでできます。



3階(人工腎透析)の紹介  
○これまで腎不全になったら他の医療機関をお願いしていた患者さんを安心して治療できることの意義は大きいものがあります。入院ができる透析施設(リハビリやCTでの臓器検査、入院透析など)として、合併症や長期間にわたる透析の影響によって身体に様々な症状が発症した患者さんなどの要求に応じていきます。また、患者送迎や夜間透析など高齢者や車

いすの方、透析を受けながら働く人々にも安心して治療できる施設を目指します。  
○開始時期は2020年1月を予定しています。導入台数は5台(管理患者数8名)から出発し、6年後には27台(管理患者数65名)の稼働を計画します。



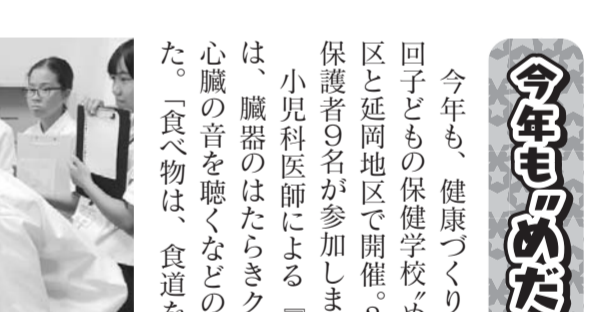
2018年8月度 理事会の報告(8月18日開催)



原水禁世界大会参加メンバー 平和公園にて

8月4日から6日の3日間、原水禁世界大会が広島で開催され、宮崎生協病院から研修医3名、看護師2名、事務2名、組合員さん2名が参加しました。今年4月に入職した職員にとっては、現地で平和を守る運動に直接肌で触れることができる貴重な平和教育の場です。この大会の歴史は長く、1955年8月が開かれて以来、翌56年に長崎で第2回目、1945年8月6日午前8時15分、広島に世界で初めて原子爆弾が投下され、一瞬にして、約14万人の人々が命を落としました。このような悲しい歴史を持つ広島で核兵器を使用しない、また核兵器を廃絶するという意志を持った人々たちと平和運動に参加することで、核兵器の非人道性、核戦争の悲惨さを改め

2018年原水禁世界大会広島へ参加して  
8月4日から6日の3日間、原水禁世界大会が広島で開催され、宮崎生協病院から研修医3名、看護師2名、事務2名、組合員さん2名が参加しました。今年4月に入職した職員にとっては、現地で平和を守る運動に直接肌で触れることができる貴重な平和教育の場です。この大会の歴史は長く、1955年8月が開かれて以来、翌56年に長崎で第2回目、1945年8月6日午前8時15分、広島に世界で初めて原子爆弾が投下され、一瞬にして、約14万人の人々が命を落としました。このような悲しい歴史を持つ広島で核兵器を使用しない、また核兵器を廃絶するという意志を持った人々たちと平和運動に参加することで、核兵器の非人道性、核戦争の悲惨さを改め



検査室で顕微鏡体験を

今年も、健康づくり委員会主催による第5回子どもの保健学校「めだかの学校」を宮崎地区と延岡地区で開催。2つの地区で児童21名、保護者9名が参加しました。  
小児科医師による「体のしくみ」の講義では、臓器のはたらきクイズや聴診器で実際に心臓の音を聴くなどの分かりやすい内容でした。「食べ物」は、食道を通して胃にいくなだよね「水分が多くなせうんちがやわらかくなる」というなど質問攻めになる場面も。病院見学では、検査室とレントゲン室の説明を技師が



心臓の音を聴きました



原水禁世界大会2018 閉会総会

て認識しました。現在、被爆を直接体験された方々は、多くが高齢化し、語り手も減少しています。そのような中で、原爆の記憶が風化し、忘れ去られることが懸念されており、少しでも多くの人たち、特に若い世代に世代に核兵器の恐ろしさを理解して欲しいという思いと、核兵器廃絶を訴え続けてきた歴史の重みを感じることができました。8月6日に私たちは広島平和公園での平和記念式典に参加し、8時15分に黙とうをささげました。私は73年前に原爆で亡くなった方々の冥福を祈りました。そして、「二度とあのような悲惨な戦争を繰り返させない」、「核兵器を地球上に存在させてはいけない」という気持ちを新たに、それを次の世代へと語り継いでいく事を広島で眠る御霊に誓い、宮崎へと戻りました。(宮崎生協病院 松浦光宏)